

2025年世界手指衛生の日を祝おう！オンラインセミナー



NAGOYA UNIVERSITY
HOSPITAL



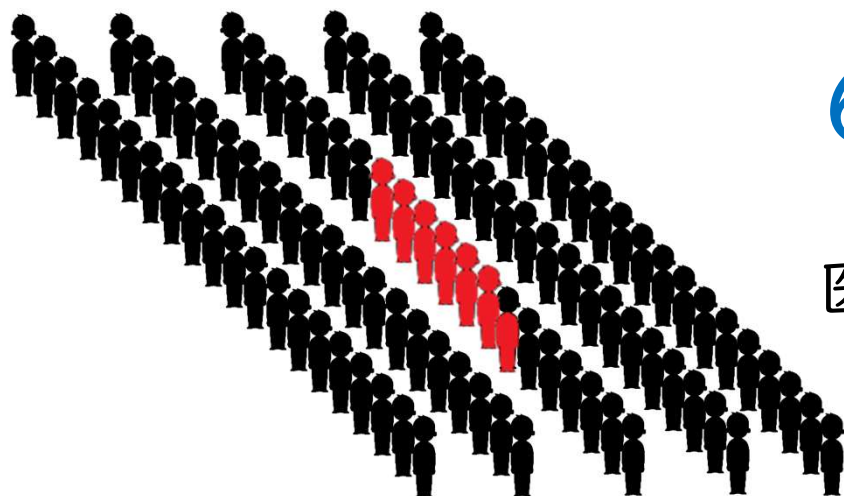
仲間の「世界手指衛生の日キャンペーン」 国内から！海外から！

名古屋大学医学部附属病院
看護部(感染対策)/中央感染制御部
感染管理認定看護師
豊留 有香



医療関連感染症の有病率

(愛知県の感染防止対策加算I 27病院、2020年施行、10199人対象)



6.7%の入院患者に

医療関連感染症の治療がなされていた

Morioka H, et al. Healthcare-associated infections in Japanese hospitals: results from a large-scale multicenter point-prevalence survey in Aichi, 2020. Infect Control Hosp Epidemiol. 2024;1-8.

組織文化 Institutional Safety climate

わたしたちは 手指衛生を徹底します

病原体を
患者さんにつけないために

病院長

患者さんを
感染から守るために

看護部長

患者さんに触れる前 : 患者さんに病原体を持ち運ばないために手指衛生
します

清潔操作が必要な場面の直前 : 処置を行う部位に病原体をつけない
ために手指衛生します

処置の直後 : 処置後の手で患者さんの周囲環境を汚染させないために
手指衛生します

患者さんに触れた後 : 医療を受けられるすべての患者さんを感染から
守るために手指衛生します

患者さんの周囲環境に触れた後 : 環境に存在する病原体を持ち運ばない
ために手指衛生します

令和6年4月
名古屋大学医学部

病院長と看護部長のポスター

実践させる体制や雰囲気づくり

- 患者に安全な医療を提供するのに必須な重要事項であることの周知
- 施設として「手指衛生の改善」を重視する姿勢

2017年～ JCI基準となる、国際患者安全目標 (IPSG) を達成するため、手指衛生の改善は、病院全体の取り組みとして捉えられるクロスモニタリングの推進や、手指衛生サポーターの活動支援

当院の手指衛生キャンペーン活用方法①



毎月5日は、**クロスモニタリングデー** & 5月8日~5月12日は、**クロスモニタリングウィーク**

Accelerate action together
SAVE LIVES - Clean Your Hands

【令和5年度のクロスモニタリングデー】
2023年4月5日(水)、6月5日(月)、7月5日(水)、8月4日(金)
9月5日(火)、10月5日(水)、11月6日(月)、12月5日(火)
2024年1月5日(金)、2月5日(月)、3月5日(火)、4月5日(金)

名古屋大学医学部附属病院

名古屋大学医学部附属病院は、WHOの手指衛生キャンペーンに参加しています！
当院では手指衛生の取り組みを徹底し、安全で質の高い医療の提供に努めています

We promote a quality and safety culture to ensure clean hands. Proud to be part of the WHO's hand hygiene campaign!

病院長 小寺 弘
中央感染症制御部 八木 隆也
副院長 丸山 隆一
副院長 Didier Pittet

2023年1月24日
名古屋大学医学部附属病院にて撮影

#HandHygiene
5月5日はWHO手指衛生の日



こどもの日

手指衛生

&

手指衛生の日

祝日に
キャンペーンは難しい...

祝日に開催できないので、
DayではなくWeek
にします！



毎月5日は、**クロスモニタリングデー** & 5月13日~5月17日は、**クロスモニタリングウィーク** World Hand Hygiene Day 2024

【令和6年度のクロスモニタリングデー】
2024年4月5日(金)、6月5日(水)、7月5日(金)、8月5日(月)
9月5日(木)、10月4日(金)、11月5日(火)、12月5日(木)
2025年1月6日(月)、2月5日(水)、3月5日(水)、4月4日(金)

名古屋大学医学部附属病院

名古屋大学医学部附属病院は、WHOの手指衛生キャンペーンに参加しています！
私たちは、患者さんの命を守る活動として手指衛生の知識を広めます。

I share knowledge about hand hygiene as it keeps people safe. Proud to be part of the WHO's hand hygiene campaign!

中央感染症制御部 八木 隆也
病院長 丸山 隆一

SAVE LIVES
Clean Your Hands
5月5日はWHO手指衛生の日

チームSTEPPS®のクロスモニタリングを取り入れ患者安全のための手指衛生を推進

キャンペーン実施中の館内放送

ICTから職員のみなさまに、感染対策のお知らせです。
今週は、手指衛生クロスモニタリングウィークです。
医療関連感染症を防ぐために、適切なタイミングで手指衛生を実施しましょう。
お互いに声を掛け合い、適切に手指衛生が実施できるようご協力お願いいたします。

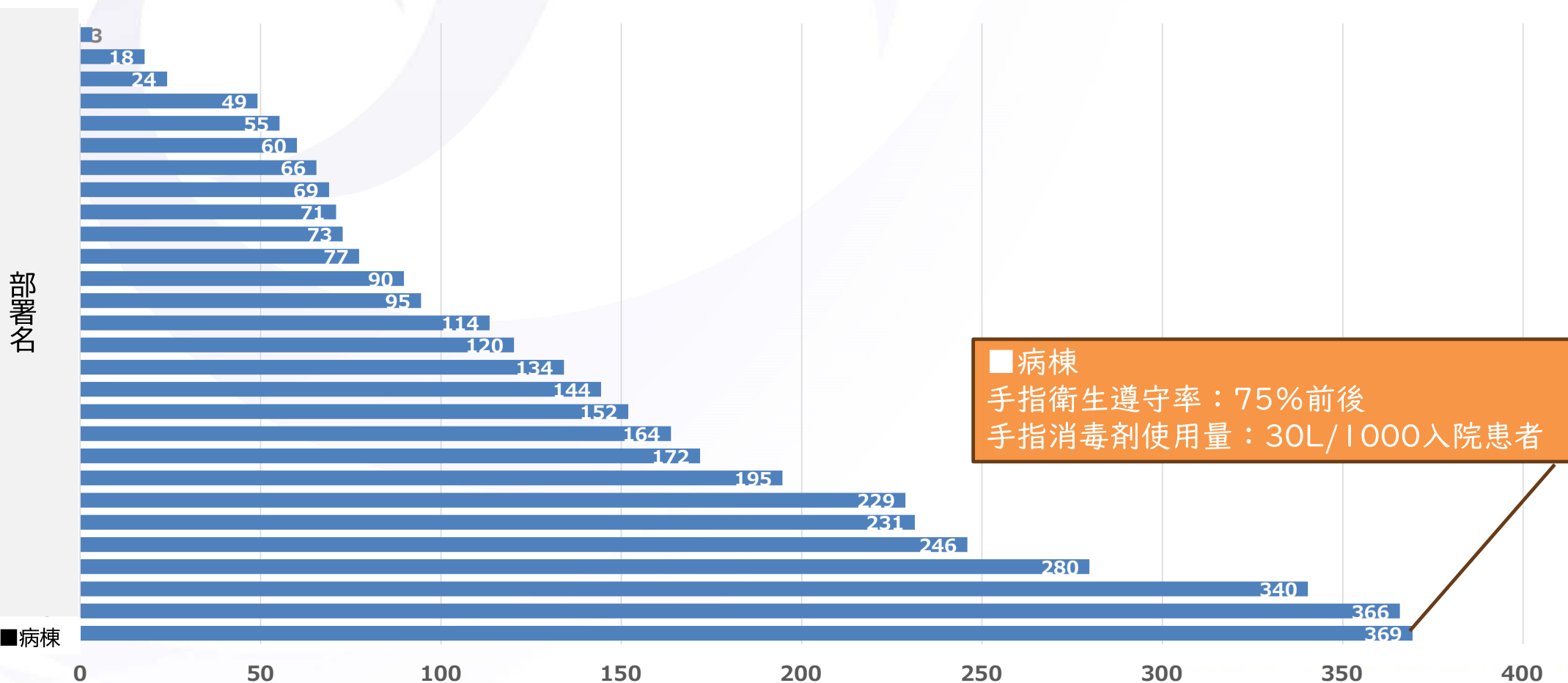
ICTから職員のみなさまに、感染対策のお知らせです。
今週は、手指衛生クロスモニタリングウィークです。
手指衛生が必要な場面で、手袋の交換をしても手指衛生の代わりにはなりません。
適切な手袋の使用と手指衛生が実施できるよう、お互いに声を掛け合ってください。

ICTから職員のみなさまに、感染対策のお知らせです。
今週は、手指衛生クロスモニタリングウィークです。
積極的に手指衛生の声掛けをしていきましょう。
患者さんのための手指衛生ができる名大病院を目指しましょう。



当院の組織文化を醸成するための取り組み

令和6年度 クロスモニタリング月平均報告回数



当院の手指衛生キャンペーン活用方法②

その年のキャンペーンテーマに合わせた活動を計画！

2024年

■ 手指衛生教育の強化（院内・院外）



職員への手指衛生教育方法を
感染対策向上加算連携施設にも公開



手指衛生確認カードゲームを使用して楽しく学習

①患者に触れる前



手指衛生



②清潔/無菌操作前



手指衛生



つける



はずす



手指衛生



③体液曝露リスク後

④患者に触れた後



【手指衛生サポーター】
看護師・医師をはじめと
して、療法士・薬剤師・
放射線技師・臨床検査技
師・臨床工学技士・事務
など様々な職種が参加



手指衛生サポーター育成・ステップアップ講習会



各部署で学習会を開催してもらう

↑ 当院のオリジナル手指衛生確認カードゲーム
(簡単に作成できます)

今年度の手指衛生キャンペーン

2025年

- 手袋の適正使用！
- 手指衛生が大切！
- 地球環境のためにも！



手指衛生を正しく実践し
手袋は適正使用を
心がけよう

World Hand Hygiene Day
2025

SAVE LIVES
Clean Your Hands

毎月5日は、
クロスモニタリングデー

&
5月12日～5月16日は
クロスモニタリングウィーク



【クロスモニタリングデー】
2025年6月5日(木),7月4日(金),8月5日(火),9月5日(金),10月6日(月),
11月5日(水),12月5日(金)
2026年1月5日(月),2月5日(木),3月5日(木),4月6日(月)

名古屋大学医学部附属病院

手指衛生を正しく実践し、
手袋は適正使用を心がけましょう。



中央感染制御部
八木 哲也

病院長
丸山 彰一

「5つの瞬間」では、いつも手指衛生が必要です！

SAVE LIVES
Clean Your Hands

手指衛生キャンペーンを活用するための準備



- 手袋をつけっぱなしで、手指衛生をし損ねている…
- 手袋をつけていたら感染対策している…（つもりの手袋神話）
- 感染性廃棄物多すぎ！←地球環境にも事務的にも困るとお叱り…

↑テーマを知る前
(当院の困りごと…)

手指衛生キャンペーンを活用するための準備

- 手指衛生直接観察の際に、「手袋未実施」がどの程度の割合で発生しているのか実際の数字として算出できるように観察を開始。
- ICTメンバーに、次年度の手指衛生キャンペーンテーマを共有して、どのような活動計画にするか相談、アイデアを集う。
- 病院職員に対して、手指衛生に関連した情報共有の一環で、手袋が与える影響と課題をアピール。



Hand Hygiene News 1月号 2025.1.23

名大病院Infection Control Team 発行

手袋の適正使用できていますか？

手袋装着の目的は2つ

- 医療従事者の手に体液が付着することを防ぐ
- 病原微生物の環境への伝播、医療従事者と患者の間や患者間の伝播のリスクを少しでも低減させる

WHO手指衛生
ガイドライン2009
手袋適正使用
「ピラミッド」

滅菌手袋

【無菌的な操作が必要な場合】
手術、分娩、透視下で行う侵襲的操作、
中心静脈ルートの挿入や取り扱い、中心
静脈栄養の調製、化学療法薬剤の調製

未滅菌手袋

一定程度以上の
体液曝露リスクあり

【患者と直接的な接触】
血液、粘膜、正常ではない皮膚との接触、
高リスク病原微生物の存在が示唆される状
況、感染症パンデミック時、緊急対応、末梢
ルート確保と抜去、採血、末梢ルートの接続を
外す、随部の診察、気管内吸引

【患者と間接的な接触】
臓器を空にする、使用後器材の取り扱いや洗
浄、汚物の取り扱い、床の体液汚染の拭き取り

(接触予防策以外で)
手袋は
使用しない
体液曝露リスクは
低い/ない

【患者と直接的な接触】
血圧測定、脈拍測定、検温、皮下注射、筋肉
注射、入浴や更衣の介助、患者の搬送、瀧出
液がない耳や目のケア、血液の逆流や流出が起
こらない静脈ルート関連の操作

【患者と間接的な接触】
電話、電子カルテ記入、服薬介助、食事の配
膳や下膳、リネン交換、酸素カニュラや非侵襲的
な換気補助器材の設置、病室の家具の移動

手袋ピラミッドは、いつ手袋を
使うべきか、(使わないべきか)
判断するための基準です。

- 手袋は標準予防策と
接触予防策の原則に準じて
使用します。
- 手袋ピラミッドは、臨床現場
において手袋を使用しない
場面、および未滅菌または
滅菌手袋を使用する場面の
具体的な例を挙げています。
- 手袋の使用/不使用中に関わ
らず、手指衛生を行う必要
があります。



手袋の不適切な使用
についても、手指衛生
直接観察でモニタリ
ングを開始します。

手指衛生5つの観察サポートブックより http://www.kanjokanzen.com/010tabe/yetoback/5shuhyu_support_1.pdf

ICTからのお知らせ

- > 電子カルテの8次システム移行に伴い、ICTで使用している感染管理システムもバージョンアップしました。
- > 例えば「患者に触れる前」かつ「清潔無菌操作の前」のような、同時発生する手指衛生の5つ瞬間を記録に残せるようになり、今までよりも、より正確な観察記録を残すことができます。
- > 手指衛生改善に役立つ直接観察とフィードバックをいたしますので、引き続きご協力をお願いします。

↑手指衛生に関する
ニュースレター

メンバーも、ネガティブな感情を少なくする工夫や雰囲気作りは、
手指衛生行動の改善にもつながる大きな要因となっています。

Hygiene News 3月号 2025.3.27

大病院Infection Control Team 発行

当院の手指衛生実施状況

協力いただき、ありがとうございます。令和6年度最後のHand Hygiene Newsでは、
状況を普段の院内比較のみではなく、少し異なる視点で見たいと思います。

【手指衛生遵守率】当院の目標値：85%
WHOのガイドラインでは、以下のよう
結果を評価しています。

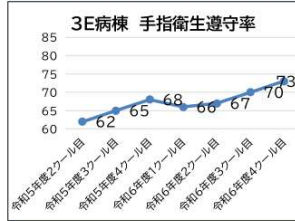
≥81%	30点
71-80%	25点
61-70%	20点
51-60%	15点
41-50%	10点
31-30%	5点
≤30%	0点

◆点数が高いほど高評価。
◆当院の令和6年度は、**70~75%の遵守率**。
◆患者さんを守るためには、もう一息！
◆令和6年度の**清潔無菌操作前は60%台**でした。
清潔無菌操作前は、医療関連感染の発生リスク
にも大きく影響しますので、とくに強化が必要です。

良い取り組みの共有 (3E病棟)

担当者になると、「色々」と指摘をしたりしな
が重い…」このように感じられる方がいらっし
や生が実施できていないことを放置することは、
及ぶ可能性があることを意識する必要があり
守るための手指衛生を、少しでも明るく・
うという気持ちに変えてもらうための取り組み
棟をご紹介します。

剤の使用量トップ5の職員には、「よくでき
や感染対策上のルールをもう少し頑張らなく
いきんシール」(手描きのかわいいシー
してほしい行動を伝えると同時に、指摘を受
なり、頑張ろうと感じてもらえるフィードバック
は、手指衛生サポーターのICTリンクスタッフと
係メンバーが中心となって活動し、
不十分』を放置しない組織文化醸成に
と手指衛生の改善を中心で取り組む



令和6年度後半：手指消毒剤使用量
20.5~24.5回/1患者・日



<よくできましたシール> <くばいきんシール>
看護部感染対策/中央感染制御部
豊留有香

ICTMonthly 2025年4月号

その手袋は、本当に必要ですか？



医療処置中に使用される使い捨て手袋は、素手と同じくらい
簡単に汚染される可能性があり、手指を100%保護する
わけではありません。着用するときは、たとえば患者に触れた後
に手袋を取り外し、WHOの手指衛生の5つの瞬間に従ってす
ぐに手指衛生を行う必要があります。

手袋を着用しているかどうかに関係なく、適切なタイミング・
適切な方法で手指衛生を行うことは、患者と医療従事者
を感染から守るための最も重要な手段の1つです。



手袋の過度の使用は、医療廃棄物の量に大きく影響していま
す。手袋の適切な使用と手指衛生は、この無駄を最小限に抑
えるのに役立ちます。本来は**いらぬ場面**で手袋を使用すると、
**資源が浪費され、必ずしも微生物による感染症を減らすわけ
ではありません**。2020年2月から8月の間に、30億個の個人
用保護具が使用され、1日あたり591トンの廃棄物が発生しま
した。最大の要因は手袋であるといわれています。

WHOホームページより<https://www.who.int/campaigns/world-hand-hygiene-day/2025>

WHOでは、毎年5月5日を「世界手指衛生の日」として、
手指衛生推進のためのキャンペーンが行われています。
COVID-19の流行により、世界中で手袋の不適切な使用が
増えていることが問題視されています。医療資源が無駄遣い
され・廃棄物も増える・・・、それにもかかわらず患者さんを確実
には守れていないという状況は、誰も得をしていません。
今年度のWHO手指衛生キャンペーンテーマは、「手袋の
不適切な使用を減らし、正しい手指衛生を推進する」ことです。
当院でも、手袋の不適切な使用を減らしていきましょう！



看護部感染対策 豊留有香

ICT関連情報誌→

今年度の手指衛生キャンペーン Adapt



- 毎年5月のゴールデンウィーク翌週には、クロスモニタリングウィーク（強化週間）があることが、定着しつつある！
- 期間中は全館内放送で、「患者さんを守るための手指衛生推進のためにクロスモニタリングをしましょう」のアナウンスが入る（1日3回）。

毎月5日は、**クロスモニタリングデー**
&
5月12日～5月16日は**クロスモニタリングウィーク**

World Hand Hygiene Day 2025
その業務…
本当に手袋は必要？

プラスチック廃棄物の削減も意識しましょう！

手指衛生
【クロスモニタリングデー】
2025年6月5日(木), 7月4日(金), 8月5日(火), 9月5日(金), 10月6日(月),
11月5日(水), 12月5日(金)
2026年1月5日(月), 2月5日(木), 3月5日(木), 4月6日(月)

名古屋大学医学部附属病院
手指衛生を正しく実践し、
手袋は適正使用を心がけましょう。

中央感染制御部 八木 哲也
病院長 丸山 彰一

「5つの瞬間」では、いつも手指衛生が必要です！

SAVE LIVES
Clean Your Hands

今年度の手指衛生キャンペーン

2025年

Adapt

- 手指衛生遵守率フィードバックで、手袋未実施率を報告する。
- 手指衛生サポーター講習会では、なぜ手指衛生が必要なのか体感してもらうために、手指の培養を企画して準備中。
(予算については、感染対策委員会で承認済み) …組織を巻き込む
- 観察結果から算出された、手袋未実施が多い「清潔無菌操作前」と「体液曝露リスク後」の指導教材を作成中！
- 今年度も、加算連携施設へ手指衛生サポーター講習会を公開予定。
- 現場スタッフが手指衛生改善活動を主体的に行うための支援。

